

東北地方 3か月予報

(4月から6月までの天候見通し)

平成22年3月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。一時気温が低くなるでしょう。

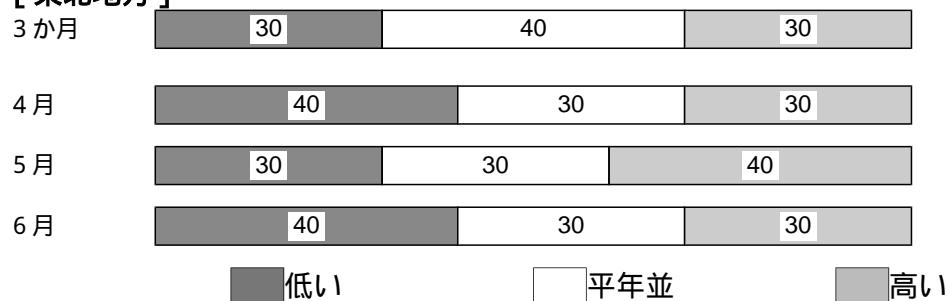
5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温の変動が大きいでしょう。

6月 東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。気温が低くなる時期があるでしょう。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

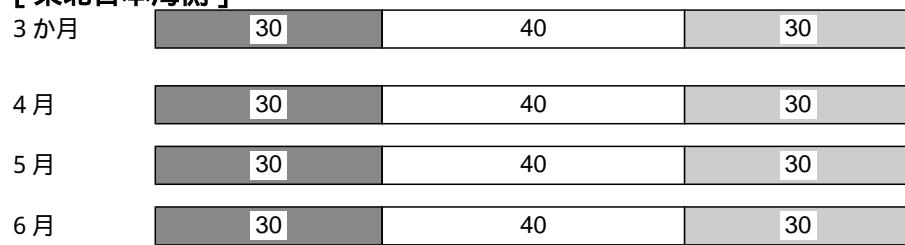
<<気温>>

[東北地方]

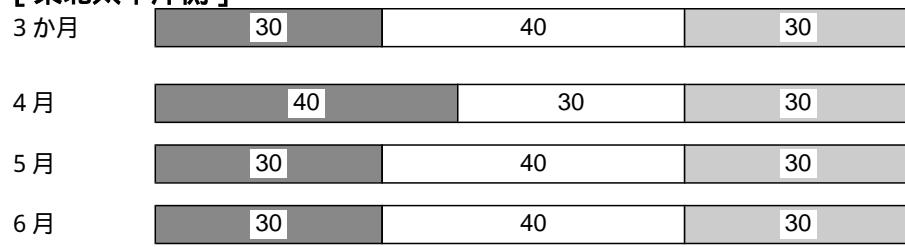


< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月26日

3か月予報：4月22日(木) 14時

4月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

なお、最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月25日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	4月	5月	6月	4月~6月	4月	5月	6月	4月~6月	4月	5月	6月	4月~6月
青森	7.9	13.1	17.0	12.7	60.7	78.8	82.2	221.7	187.3	210.1	180.7	578.1
深浦	8.3	13.0	17.2	12.8	93.3	108.8	109.4	308.6	174.7	197.4	179.6	551.7
むつ	7.2	12.1	15.6	11.7	81.1	92.3	109.0	282.3	193.8	207.7	162.6	564.2
八戸	8.3	13.1	16.1	12.5	58.9	84.7	99.2	242.8	194.3	207.5	168.8	570.7
秋田	9.2	14.2	18.8	14.1	117.6	122.8	127.5	367.9	175.0	191.4	178.0	544.3
盛岡	8.4	13.8	18.2	13.4	93.8	103.3	114.9	312.1	175.1	194.9	151.7	521.8
大船渡	9.0	13.6	17.3	13.3	138.0	149.8	171.5	449.3	176.0	196.3	148.2	520.5
宮古	8.7	13.1	16.0	12.6	96.3	98.4	117.3	311.9	192.3	191.8	140.4	524.4
仙台	10.1	14.9	18.3	14.4	98.1	107.9	137.9	343.9	190.9	198.7	127.9	517.5
石巻	9.2	14.0	17.7	13.6	91.8	98.2	111.6	301.6	192.6	206.5	145.6	544.7
山形	9.8	15.4	19.5	14.9	68.1	81.3	102.6	251.9	180.3	201.9	153.8	535.9
新庄	8.1	14.2	18.7	13.7	98.3	106.6	131.0	332.1	150.2	180.1	152.7	482.4
酒田	9.8	14.9	19.3	14.7	105.5	116.8	128.1	350.4	173.1	198.7	175.9	547.7
福島	11.3	16.5	19.9	15.9	79.5	87.5	118.1	285.1	188.6	198.1	130.1	516.7
若松	9.9	15.5	19.8	15.1	63.4	80.5	115.7	259.6	175.8	197.9	157.9	531.5
白河	9.8	14.8	18.4	14.3	100.5	120.0	167.6	388.0	184.2	188.4	121.9	494.5
小名浜	11.1	15.1	18.3	14.8	128.3	147.0	149.8	425.1	186.1	198.4	138.4	522.9

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1971~2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	4月	5月	6月	4月~6月
気温平年差()	東北地方	-0.3 ~ +0.5	-0.3 ~ +0.4	-0.6 ~ +0.2	-0.2 ~ +0.2
	東北日本海側	-0.5 ~ +0.6	-0.3 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.2	-0.2 ~ +0.2
	東北太平洋側	-0.5 ~ +0.5	-0.3 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.2	-0.2 ~ +0.2
降水量平年比(%)	東北地方	89 ~ 112	86 ~ 115	82 ~ 118	94 ~ 108
	東北日本海側	90 ~ 110	84 ~ 110	71 ~ 105	92 ~ 110
	東北太平洋側	84 ~ 113	82 ~ 111	88 ~ 111	89 ~ 112
日照時間平年比(%)	東北地方	94 ~ 103	98 ~ 105	95 ~ 106	97 ~ 103
	東北日本海側	92 ~ 106	95 ~ 104	96 ~ 107	97 ~ 105
	東北太平洋側	95 ~ 102	99 ~ 106	90 ~ 108	95 ~ 103

(3) 接近する台風の平年値

	4月	5月	6月
東北地方	0.0	0.0	0.1

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料 (4~6月)

平成22年3月25日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

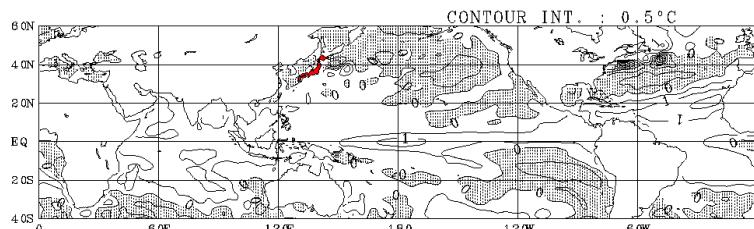
	気温	降水量
4~6月 :	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
4月 :	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
5月 :	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
6月 :	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい

2. 暖候期予報の見直しについて

最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月25日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

3. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

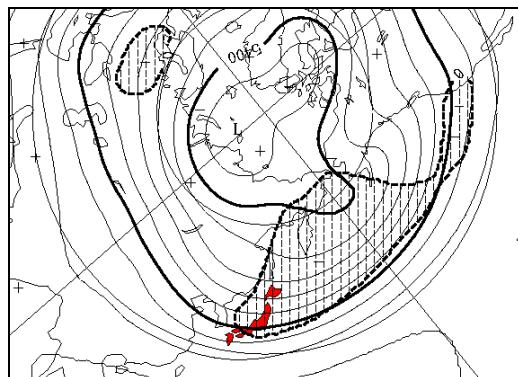
数値予報による海面水温偏差の予想(右上図)では、太平洋赤道域の日付変更線付近の正偏差が特徴的で、インド洋も正偏差となっている。なお、エルニーニョ現象は今予報期間の前半は継続する予想だが、後半には次第に終息に向かう見込み。エルニーニョ現象が発生している時や終息直後は、



3か月平均の海面水温偏差の予想図

等高線は0.5°C毎。陰影部は負偏差

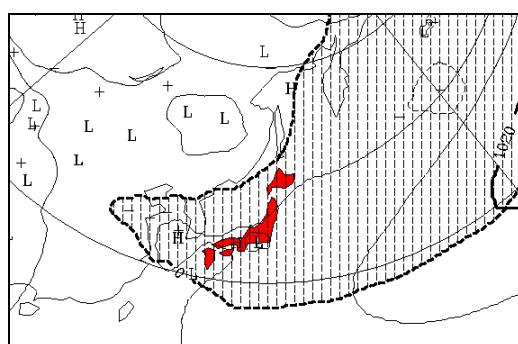
500hPa 高度では低緯度を中心に高度が高くなる傾向があり、数値予報資料の 500hPa 高度(右中図)でも低緯度を中心に広く正偏差となっている。一方、熱帯の対流活動の予想(図略)では、太平洋赤道域の日付変更線付近で活発、フィリピン付近で不活発となっている。このようなときは、春は北日本中心に寒気が南下しやすく、梅雨期は太平洋高気圧の北への張り出しが弱い傾向がある。500hPa 高度(右中図)でも、北太平洋は広く負偏差となり、北日本も負偏差におおわれる。これらのことから東北地方は、高温の時期と寒気の影響を受ける時期とがあつて、気温の変動が大きい見込み。海面気圧予想図(右下図)では、東西方向の等圧線の間隔は広く、天気は数日の周期で変わる見込み。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 每
陰影部は負偏差 (一般に寒気に対応)

月別の海面気圧予想図(図略)などからは、
4月：天気は数日の周期で変わると予想される。寒気の影響を受け一時的に気温が低くなる見込み。
5月：天気は数日の周期で変わると予想される。気温の変動が大きい見込み。
6月：前線や気圧の谷、寒気の影響により平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想される。また、気温の低くなる時期がある見込み。



3か月平均の海面気圧と偏差の予想図

実線は等圧線 4hPa 每、点線は偏差 1hPa 每。
陰影部は負偏差

<参考資料>

平年の天気出現日数(日)

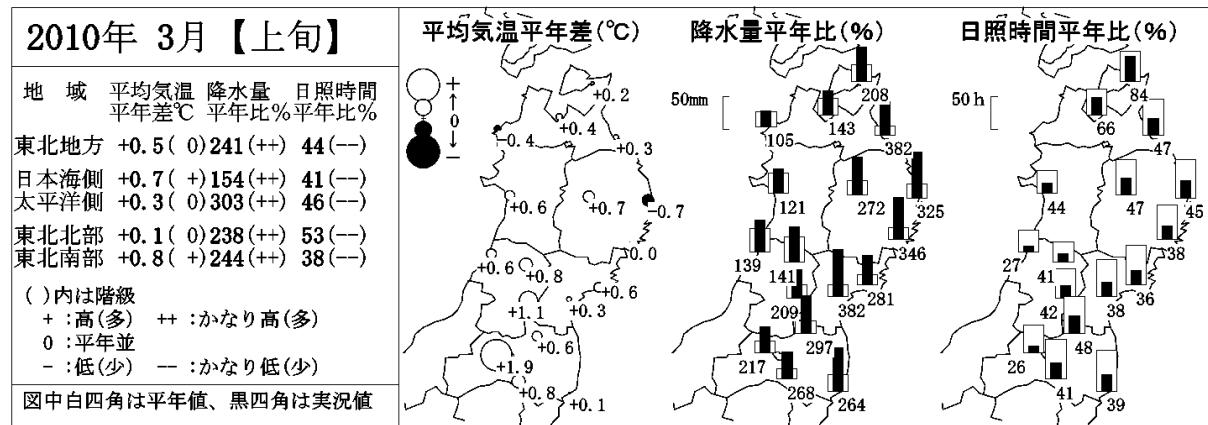
	4月		5月		6月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	16.8	18.2	17.6	17.7	14.3	12.0
雨の日	10.9	8.9	10.4	9.3	10.3	10.4

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いている。

4. 最近の天候経過

3月上旬：この期間、本州南岸や日本海を低気圧や前線が短い周期で通過したため、曇りや雨または雪の日が多くなった。9日から10日にかけては、低気圧が本州南岸を東進後、三陸沖を急速に発達しながら北東進した影響で東北太平洋側の沿岸部を中心に大雪となり、八戸では10日の降雪の深さ日合計が61cmと全年の第1位の値を更新した。大雪により、岩手県や宮城県でビニールハウスの倒壊や停電、交通障害などが発生した。

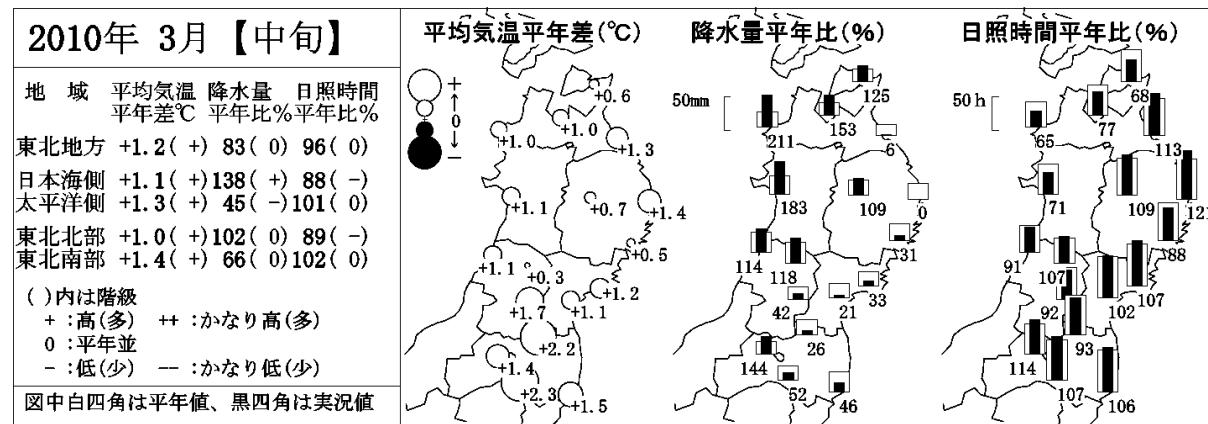
平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



東北地方における3月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

3月中旬：この期間、日本海や本州南岸を低気圧や前線が短い周期で通過したため、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多くなったが、東北太平洋側では天気の崩れは小さく、晴れる日もあった。低気圧の通過後は一時寒気が南下して気温が低くなる日もあったが長続きせず、その他の日は南から暖かい空気が流入して気温の高い日が多くなった。なお、12日は山形県でなだれによる被害が発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

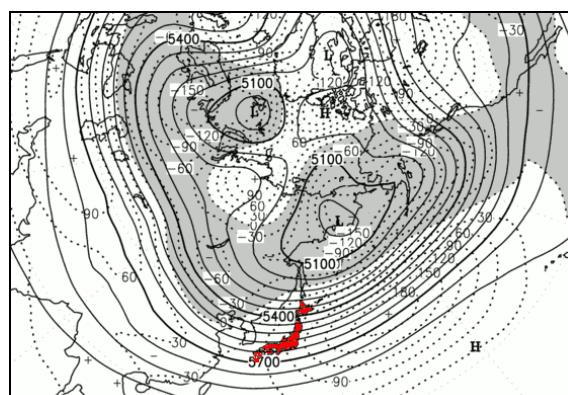


東北地方における3月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

5. 今月の循環場の特徴

3月(20日まで)：500hPa高度では、カムチャツカの北からバイカル湖付近にかけて広く負偏差となった。一方、日本のはるか東は明瞭な正偏差となり、日本付近も正偏差におおわれた。

東北地方は、一時寒気が南下して気温が低くなる日もあったが、その他の日は南から暖かい空気が流入して気温の高い日が多くなった。



3月1日～20日の平均500hPa高度

実線は等高度線60m毎、点線は偏差30m毎、陰影部は負偏差